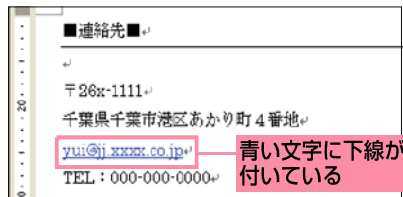


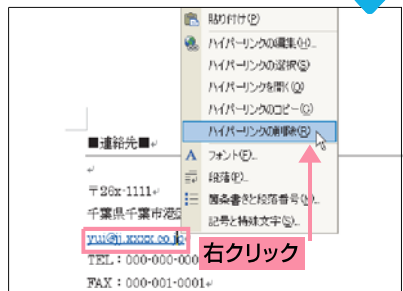
はみ出し用語解説

アドレス／ホームページのアドレスは、ホームページがネットワーク上のどこにあるかを示す住所のようなもので、URL (Uniform Resource Locator) ともいう。メールアドレスは、メールを送受信するのに必要な住所、氏名のようなもの。@ (アットマーク) を挟んで、個人名と所属するネットワーク (プロバイダーや会社名) で構成されている。「リンク」と同じ意味。ハイパーリンク／ホームページの文字や画像に、関連する情報のあるページのアドレスを結び付けること。ワードやエクセルの文字にも設定できる。「リンク」と同じ意味。

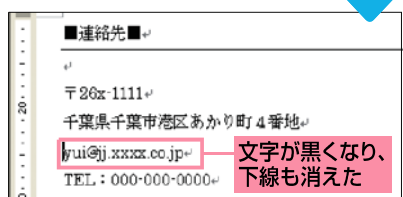
メールやホームページのアドレスを入力すると、文字が青くなり下線が付きます (図63)。これはハイパーリンクといって、クリックするとアウトロック・エクスプレスやインターネット・エクスプローラが起動する便利な機能です。この機能が不要なら、「ハイパーリンクの削除」で直します (図64～図66)。



メールアドレスが青字になり、下線が付いている。リンクが張られた状態で、クリックするとアウトロック・エクスプレス (OE) などが起動する。

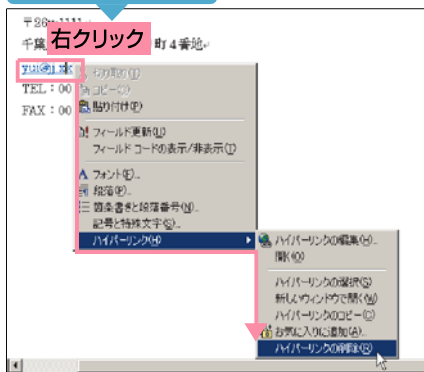


青い文字の上で右クリックし、「ハイパーリンクの削除」をクリックする。



文字が黒くなり、下線も消えた。これでクリックしても、OEなどは起動しなくなる。

ワード2000の場合

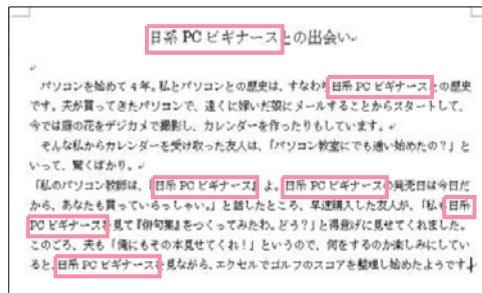


ワード2000では、青字のメールアドレスの上で右クリックし、「ハイパーリンク」→「ハイパーリンクの削除」とクリックする。

16 ワザ

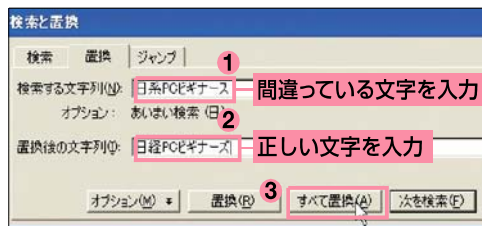
メールやホームページのアドレスの下線を消す

文書の中で同じ誤字を繰り返し入力していることに気付いた場合 (図59)、一つずつ直すのは面倒です。そんなときは「置換」機能を使いましょう。間違っただけの入力した言葉と正しい言葉を指定すると、入力した文書の中から該当する言葉を探し出し、正しい言葉に修正してくれます (図60～図62)。これで、修正漏れもなくなります。

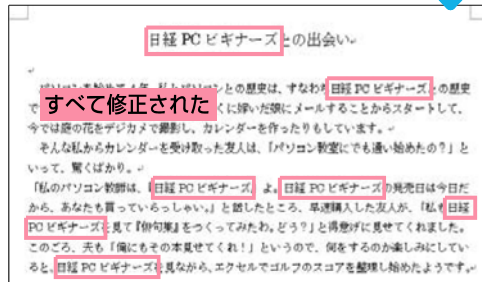


本来「日経PCビギナース」と入力すべきところを、誤って「日系PCビギナース」と入力してしまった。

「編集」→「置換」とクリック。このとき、文書中のどこにカーソルがあってもよい。



「検索する文字列」欄に誤字の「日系PCビギナース」(①)、「置換後の文字列」欄に正しい「日経PCビギナース」と入力し (②)、「すべて置換」をクリック (③)。



「文書の検索が終了しました。～個の項目を置換しました。」という画面で「OK」。図61の画面で、今度は「閉じる」をクリックすると、誤字の修正が完了する。

15 ワザ

複数の間違いを置換機能でまとめて修正する